

小学校1・2年生は
こんな時期です



学習時間の
めやす

20~40分

「育ち」や「学び」の特徴

- ひとりで学習の内容や方法を定めることはまだ難しい時期です。家族の手助けが欠かせません。
- 「やったね!」「よくできたね!」まわりのほめ言葉が、すばらしい意欲を生み出します。
- いろいろなことに興味・関心を持ち、何でも知りたがりです。
- 「早寝早起き」「しっかり朝食をとる」「朝の排便」「正しい姿勢で座る」などの基本的な生活習慣が身につくと、学習の習慣も身につきます。
- 担任の先生はもちろん、学童保育の先生とも十分な連携が必要です。必要なことは相談しましょう。



学校での学習内容の特色

- 「読み・書き・計算」など、基礎的・基本的な学習が始まります。
- 教科ごとの45分間授業が基本です。先生の話をしっかり聞いて学習します。
- 生活と結びついた学習が多く、具体物を使ったり、実際に体験したりします。
- 繰り返し学習することで、力のつく学習内容がたくさんあります。
- 「鉛筆を正しく持つ」「明日の学習の準備をする」「整理整頓をする」も、基本となる学習です。



家庭学習の コツ! 3か条



- 1 最後までやり終える** ~家族も一緒に根比べ~
「宿題は最後までやること」を守らせましょう。最後までやったかどうかを必ず家族の目で点検しましょう。テレビやゲームも、時間のけじめをきちんと守らせましょう。ねばり強く働きかけることが大切です。
- 2 子どもに家事を!** ~高学年・中学生になっても~
家庭で、子どもにできる仕事を見つけてください。家族の一員としての自覚が育つとともに、学習に必要な持続力、集中力、根気などが育ちます。こうした家事の分担は学年が上がっても続けましょう。
- 3 子どもが見ています!** ~子は親のうしろ姿を見て育つ~
大人がお手本となるような「学ぶ」姿勢を見せましょう。子どもが学習しているとおりで、スマホを見ていませんか? 家族ぐるみでよりよい学習習慣づくりと環境づくりにつとめることが大切です。

親子で
確認

ワンポイント アドバイス



小学校
1・2年生 家庭学習
こんな内容・方法で

~家庭学習を始める前に~

- 学習前に、勉強する場所の整理整頓を。
- 学校からのプリント類を一緒に確かめる。
- 今日の宿題を一緒に確かめる。
- 鉛筆の正しい持ち方を教える。

宿題

全部できるようになれば、まず大丈夫!
宿題をやり終える子どもにしましょう。
家族のアドバイスが必要です。

日記

楽しかったことやうれしかったことを、
すこしでも素直に自分の言葉で書くよう
アドバイスしましょう。

国語

音読

- 楽しんで、すらすら読めるように毎日練習しましょう。
- 句読点に気をつけて、大きな声ではっきりと読みましょう。

漢字

- 書き順に気をつけて、丁寧にゆっくり書きましょう。



算数

- 速さを競わずに、楽しみながら計算に慣れるようにしましょう。正しく計算ができるようになれば、少しずつスピードを上げて計算しましょう。
- まちがった問題は、必ずもう一度やり直す習慣をつけましょう。正しい計算手順が確実に身につくように、ときには手順を唱えながら練習しましょう。

生活

- 休みの日には、山や川、動物園などにでかけ、本物の動植物にふれましょう。家でも生き物を育ててみましょう。
- 学校で学んだことを生活につなげていきましょう。身の周りの漢字や買い物での計算等ちょっとした声かけで学習がより楽しくなります。

長い休みにはこんなことを! ふだんできないことに、家族でじっくり取り組みたいものです。

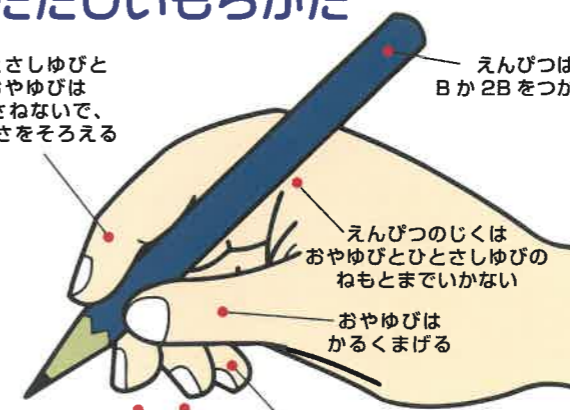
- 絵日記をつける
- 水に十分浮く練習をする
- 図書館での読書を経験する
- 自分の町の自慢(自然・施設など)を絵に描いたり、身のまわりの材料で工作したりする
- 補助輪をはずして自転車に乗る練習 など



えんぴつの正しいもちかた

ひとさしゆびと
おやゆびは
かさねないで、
たかさをそろえる

えんぴつは
Bか2Bをつかおう



えんぴつのじくは
おやゆびとひとさしゆびの
ねもとまでいかない

おやゆびは
かるくまげる

なかゆびとひとさしゆびは
かるくまぐるめよう

こゆびはかるくまぐるめてかみにつける